

令和4年11月22日

報道関係者 各位

国指定史跡

# 島原藩主深溝松平家墓所 本光寺本堂令和の大改修完成記念式典

について

国指定史跡の島原藩主深溝松平家墓所である愛知県幸田町の本光寺が、令和の大改修を終え完成を迎えました。この工事完成を祝う記念式典に、古川市長が出席いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

- 経緯** 瑞雲山本光寺は深溝松平家の菩提寺として松平家と共に島原に移ってきました。一方で代々の当主は出自である深溝（現在の幸田町）に葬られました。当初は源光寺と名乗っていましたが、幕府の命により、かつて松平氏が深溝にいた時の本光寺に寺名を変えるよう命ぜられ、以来島原と深溝の両方に同じ山号・寺号である瑞雲山本光寺が起こりました。江戸時代の13人の松平家島原藩主は、幸田町の本光寺に埋葬され、現在も丁重に祀られております。遠く離れた島原市と幸田町に同じ本光寺を有すること、また、近世大名家の葬送儀礼を伝える重要性が認められ、幸田町の瑞雲山本光寺が平成26年3月18日に国の史跡指定を受けました。この貴重な史跡を、後世に継承するため、令和の大改修が行われました。
- 日時** 令和4年11月26日(土) 午後2時
- 場所** 瑞雲山 本光寺 (愛知県額田郡幸田町深溝字内山17)
- 復旧工事概要** 工事期間：令和元年6月～令和4年2月  
工事費：259,965千円

財源内訳：国補助金	145,116千円
愛知県補助金	18,194千円
幸田町補助金	6,000千円
本光寺負担	90,655千円

5 歴史的歩み 寛永14(1637)年 島原の乱が勃発し深溝藩主 板倉重昌が総大将として島原派遣

寛永16(1639)年 浜松藩主 高力忠房 島原藩に移封

寛文 9(1669)年 福知山藩主 深溝松平忠房 島原藩に移封

以降、寛延2(1749)年まで5代にわたり深溝松平家が藩主を務めた。その後一旦、戸田家が島原藩主を務めるが、安永3(1774)年に再び深溝松平家が藩主となり、以降、明治4(1871)年まで8代にわたり島原を治めた。

6 市長コメント 島原松平七万石の歴史的なつながりのある幸田町深溝本光寺様が文化庁、愛知県、幸田町のご支援により、令和の大改修を完了されました事に、姉妹都市島原市長として心よりお祝いと感謝を申し上げます。江戸、明治、大正、昭和、平成、令和と歴代島原藩主を丁重に祀っていただいている歴史の重たさを、今改めて感じています。ものづくりの町 幸田町の益々のご発展と深溝本光寺様のご繁栄を心より祈念いたします。

島原市長 古川 隆三郎

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市教育委員会社会教育課  
 担当 文化財保護推進室 大津  
 電話：0957-63-1111（内線 652）  
 E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん